

佐渡米通信

こめ〜る

2020年 09月号

発行日:2020年9月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 藤巻・渡辺
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

1等米比率90%以上に向けて、 水管理指導会が実施

7月30日~8月7日までの間、島内約100か所の「佐渡米未来プロジェクト品質向上90」のモデルほ場で水稲水管理指導会が実施されました。指導会では、米の格落ち原因となる乳心白や胴割粒が発生しないように間断かん水を実施することを呼び掛けたほか、大量発生が懸念されるカメムシ対策について指導が行われました。



指導会の様子はYouTube
営農指導チャンネルで
配信中です。

アスパラガス産地化を目指して 栽培者を募集中!

水稲と園芸の複合経営による収益向上と佐渡のアスパラガス産地化を目指して、8月1日にアスパラガス栽培者募集説明会が開催されました。20名が参加した説明会では栽培指導や補助事業についての説明の後、モデル園地で現地研修が行われました。参加者からは土壌整備や水稲作業との兼ね合い、栽培時の注意点など多くの質問が寄せられました。



田んぼで育む生きものを調査

6月の第2日曜と8月の第1日曜は「佐渡市生きもの調査の日」です。佐渡市認証米「朱鷺と暮らす郷」の生産者は年2回の生きもの調査を行います。

8月2日の調査日には、島内各所で虫取り網や虫かごを手に生きもの調査を行う姿が見られました。網ですくい上げたカエルやドジョウ、タニシや畦畔で見つけたトンボやバッタなどを調査台帳に記入しました。



産地マスクバトンリレーで 各地のマスクが集結

新型コロナウイルスに負けないように、手作りマスクで元気な産地を発信する「産地マスクバトンリレー」が行われています。6月から始まった企画で多くの産地からマスクが集結しました。8月までに届いたマスクを一覧でご紹介します。

- ①ふくいブランド米推進協議会「福井県いちほまれ」
- ②JAしまね隠岐地区本部「島の香り隠岐藻塩米」
- ③JA新すながわ「ゆめぴりかの里」
- ④JA高知県「四万十厳選にこまる」
- ⑤JA北魚沼「北魚沼産コシヒカリ雪室貯蔵米」
- ⑥JA佐渡「佐渡産コシヒカリ朱鷺と暮らす郷」



LINEで営農情報を 配信開始!

島内在住の生産者向けに、LINE公式アカウント「JA佐渡営農情報」(@jasadoeinou)で営農情報や生活情報の配信を始めました!メールサービスやFacebook、LINEなど様々な発信ツールを使って、生育速報や営農指導、気象災害時の対応など迅速な情報発信を行っています。現在は島内向けのみですが、今後は島外向けの情報発信を行っていく予定です。

